

ゲームのチート国家連合が異世界にログインしました

御代川辰

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

読み専の学生ですが初投稿です。

内容は思いつくのですが文章を書くのが嫌いなので基本気まぐれで更新します。

またクロスオーバー予定の作品の知識は皆無なので御了承ください。

現状は以下の作品とクロスオーバーする予定です。

GATE 自衛隊、彼の地にて、斯く戦えり

艦隊これくしょん

※登場人物夏目舞の中間名を変更。マクシーネ(Maxine)↓

リール(Reel)

登場した作品(登場したキャラクター)

艦隊これくしょん(響、天龍、大井、雷、港湾棲姫、夕立)

インフィニット・ストラトス(織斑千冬、山田真耶、織斑一夏、篠ノ乃箒)

# 目次

## 設定資料等

大御和皇国海軍保有艦艇一覧（暫定版）

## Prologue

第零話前 転移前夜

33

第零話中 転移↓初接触

39

第零話後・上 提督たちの憂鬱2019

45

第零話後・下 その頃のとある掲示板

48

幕間一 2057：ビルダーバーグ集会

53

## 第壹章 Wander Girl\夢見る乙女

第壹話第壹節 凄惨

56

第壹話第貳節 開始

59

第壹話第参節 時空

62

## 設定資料等

### 大御和皇国海軍保有艦艇一覧（暫定版）

#### 大御和皇国

Another World Wars内において最高の国力を誇る十大国の中でも無敵と呼ばれるほどの大帝国。

元首は神ノ世真言。

保有戦力

海軍保有艦艇（暫定）

航空母艦〔Air craft Carrier/AC〕：171隻

主力空母〔Main Battle Aircraft Carrier/MBAC〕：龍〈60隻〉

龍神型（同型艦20？MBAC-01、MBAC-20）

〔MBAC-01、龍神〕〔MBAC-02、龍帝〕〔MBAC-03、

龍王〕〔MBAC-04、金龍〕

〔MBAC-05、黄龍〕〔MBAC-06、蒼龍〕〔MBAC-07、

青龍〕〔MBAC-08、紅龍〕

〔MBAC-09、赤龍〕〔MBAC-10、銀龍〕〔MBAC-11、

白龍〕〔MBAC-12、玄龍〕

〔MBAC-13、黒龍〕〔MBAC-14、蛟龍〕〔MBAC-15、

螭龍〕〔MBAC-16、翔龍〕

〔MBAC-17、天龍〕〔MBAC-18、雲龍〕〔MBAC-19、

聖龍〕〔MBAC-20、鬼龍〕

全長：332m 全幅：31m 喫水：15m 全高：22m 最

高速度：52km/h

艦載航空機：F-00〔零戦〕、AH-02改〔ペルセウス〕

艦載機数：F-00/80機、AH-02改/70機

最大乗員：操艦要員1528人、航空要員1056人、計2584人

その他：無人偵察機〔セリカ・クルス〕

大龍型（同型艦20／MBA C—21、MABC—40）  
「MBA C—21、大龍」 「MBA C—22、劍龍」 「MBA C—23、飛龍」 「MBA C—24、伏龍」 「MBA C—25、臥龍」 「MBA C—26、福龍」 「MBA C—27、蟠龍」 「MBA C—28、昇龍」 「MBA C—29、祥龍」 「MBA C—30、戰龍」 「MBA C—31、鬪龍」 「MBA C—32、瑞龍」 「MBA C—33、仁龍」 「MBA C—34、亢龍」 「MBA C—35、玉龍」 「MBA C—36、驪龍」 「MBA C—37、應龍」 「MBA C—38、九頭龍」 「MBA C—39、五頭龍」 「MBA C—40、虹龍」

全長：328m 全幅：30m 喫水：15m 全高：20m 最高速度：51km/h

艦載航空機：F—28M〔渡鴉〕、H—01S〔ペガサス〕

艦載機数：F—28M／80機、AH—01S／60機

最大乗員：操艦要員1607人、航空要員1211人、計2818人

その他：無人偵察機〔セリカ・クルス〕

霓龍型（同型艦20／MBA C—41、MBA C—60）

「MBA C—41、霓龍」 「MBA C—42、仙龍」 「MBA C—43、麗龍」 「MBA C—44、靈龍」

「MBA C—45、舞龍」 「MBA C—46、角龍」 「MBA C—47、蜃龍」 「MBA C—48、旭龍」

「MBA C—49、蛇龍」 「MBA C—50、賢龍」 「MBA C—51、辰龍」 「MBA C—52、蛟龍」

「MBA C—53、彩龍」 「MBA C—54、卷龍」 「MBA C—55、長龍」 「MBA C—56、鯨龍」

「MBA C—57、智龍」 「MBA C—58、武龍」 「MBA C—59、鳳龍」 「MBA C—60、永龍」

全長：313m 全幅：32m 喫水：17m 全高：20m 最

高速度：49 km/h

艦載航空機：B-38〔連山〕、B-25K〔泰山〕、A-505〔豪電〕

艦載機数：B-38/40機、B-25K/30機、A-505/30機

最大乗員：操艦要員1758人、航空要員1406人、計3164人

戦略空母〔Strategic Aircraft Carrier/SAC〕：鳳〈22隻〉

鳳翔型（同型艦9？SAC-22、SAC-29）

〔SAC-22、鳳翔〕〔SAC-23、大鳳〕〔SAC-24、善鳳〕

〔SAC-25、祥鳳〕

〔SAC-26、連鳳〕〔SAC-26、陣鳳〕〔SAC-27、銀鳳〕

〔SAC-28、黎鳳〕

〔SAC-29、蔽鳳〕

全長：240 m 全幅：26 m 喫水：17 m 全高：25 m 最

高速度：43 km/h

艦載航空機：F-902〔飛竜〕、B-15〔深山〕

艦載機数：F-902/40機、B-15/20機

最大乗員：操艦要員1257人、航空要員1316人、計2573人

その他：無人偵察機〔ブラックモスキート〕

神鳳型（同型艦13/SAC-30、SAC-43）

〔SAC-30、神鳳〕〔SAC-31、華鳳〕〔SAC-32、天鳳〕

〔SAC-33、聖鳳〕

〔SAC-34、喜鳳〕〔SAC-35、瑞鳳〕〔SAC-36、龍鳳〕

〔SAC-37、靈鳳〕

〔SAC-38、虹鳳〕〔SAC-39、霓鳳〕〔SAC-40、炎鳳〕

〔SAC-41、角鳳〕

「SACC—43、仙鳳」

全長：300m 全幅：27m 喫水：19m 全高：26m 最

高速度：50km/h

艦載航空機：F—902、B—15

艦載機数：F—902／30機、B—15／40機

最大乗員：操艦要員1008人、航空要員1586人、計2594人

汎用空母〔General Purpose Aircraft  
arrrier／GPAC〕：鶴〈38隻〉

神鶴型（同型艦12／GPAC—107、GPAC—118）

「GPAC—107、神鶴」 「GPAC—108、祥鶴」 「GPAC—109、瑞鶴」

「GPAC—110、靈鶴」 「GPAC—111、飛鶴」 「GPAC—112、真鶴」

「GPAC—113、舞鶴」 「GPAC—114、千鶴」 「GPAC—115、雲鶴」

「GPAC—116、若鶴」 「GPAC—117、天鶴」 「GPAC—118、鶴」

全長：232m 全幅：25m 喫水：16m 全高：25m 最高速度：45km/h

艦載航空機：F—10〔海鳥〕、VC—228〔雷獸〕、A—23〔震電〕

艦載機数：F—10／30機、VC—228／20機、A—23／30機

最大乗員：操艦要員1852人、航空要員1792人、計3634人

龍鶴型（同型艦10／GPAC—119、GPAC—128）

「GPAC—119、龍鶴」 「GPAC—120、翔鶴」 「GPAC—121、仁鶴」

「GPAC—122、美鶴」「GPAC—123、駿鶴」「GPAC—124、炎鶴」

「GPAC—125、龜鶴」「GPAC—126、芳鶴」「GPAC—127、善鶴」

「GPAC—128、驤鶴」

全長：248m 全幅：28m 喫水：13m 全高：26m 最

高速度：53km/h

艦載航空機：F—22〔猛禽〕、B—13〔鎮山〕

艦載機数：F—22／40機、B—13／20機

最大乗員：操艦要員1596人、航空要員1455人、計3051人

桜鶴型（同型艦16／GPAC—129、GPAC—144）

「GPAC—129、桜鶴」「GPAC—130、蓮鶴」「GPAC—1

31、兆鶴」

「GPAC—132、恩鶴」「GPAC—133、凜鶴」「GPAC—1

34、暁鶴」

「GPAC—135、豊鶴」「GPAC—136、明鶴」「GPAC—1

37、幸鶴」

「GPAC—138、玄鶴」「GPAC—139、禎鶴」「GPAC—1

40、賢鶴」

「GPAC—141、叡鶴」「GPAC—142、禱鶴」「GPAC—1

43、慶鶴」

「GPAC—144、望鶴」

全長：212m 全幅：36m 喫水：15m 全高：25m 最

高速度：41km/h

艦載航空機：F—54〔蜂鳥〕、B—81〔天山〕、AH—23〔グ  
リフォン〕

艦載機数：F—54／40機、B—81／20機、AH—23／  
30機

最大乗員：操艦要員1241人、航空要員1508人、計2649



人

護衛空母「E s c o r t A i r c r a f t C a r r i e r / E A C」：城〈51隻〉

千代田型（同型艦35／E A C—220、E A C—254）

「E A C—220、千代田」 「E A C—221、館」 「E A C—222、松前」

「E A C—223、蠣崎」 「E A C—224、蓬田」 「E A C—225、七戸」

「E A C—226、金鷄」 「E A C—227、黒石」 「E A C—228、浪岡」

「E A C—229、藤崎」 「E A C—230、剣吉」 「E A C—231、和徳」

「E A C—232、松嶺」 「E A C—233、清水」 「E A C—234、天童」

「E A C—235、若松」 「E A C—236、駒ヶ嶺」 「E A C—237、梁川」

「E A C—238、真岡」 「E A C—239、飛山」 「E A C—240、風見」

「E A C—241、川越」 「E A C—242、忍」 「E A C—243、勝沼」

「E A C—244、練馬」 「E A C—245、甘縄」 「E A C—246、岡津」

「E A C—247、能見」 「E A C—248、馬籠」 「E A C—249、安土」

「E A C—250、清洲」 「E A C—251、福山」 「E A C—252、古麓」

「E A C—253、名護屋」 「E A C—254、常盤」

姫路型（同型艦14／E A C—255、E A C—270）

「E A C—255、姫路」 「E A C—256、玉縄」 「E A C—257、

安威  
「EAC—258、吹田」「EAC—259、郡山」「EAC—260、榎並」  
若江  
「EAC—261、深井」「EAC—262、千石堀」「EAC—263、若江」  
出石  
「EAC—264、千早」「EAC—265、赤穂」「EAC—266、出石」  
雄勝  
「EAC—267、竹田」「EAC—268、玉藻」「EAC—269、雄勝」  
多賀  
「EAC—270、多賀」

戦艦〔Battle Ship〕/BB：199隻

超戦艦〔Super Battle Ship〕/SBB：神名〈59隻〉

天之御中主型（同型艦6/SBB—01）SBB—06

「SBB—01、天之御中主」「SBB—02、高御産巢日」「SBB—03、神産巢日」

「SBB—04、可美葦牙彦舅」「SBB—05、天常立」「SBB—06、國常立」

豊玉雲野型（同型艦11/SBB—07）SBB—17

「SBB—07、豊玉雲野」「SBB—08、宇比地彌」「SBB—09、須比智邇」

「SBB—10、角杙」「SBB—11、活杙」「SBB—12、意富斗能地」

「SBB—13、大斗乃弁」「SBB—14、淤母陀琉」「SBB—15、阿夜訶志古泥」

「SBB—16、伊邪那岐」「SBB—17、伊邪那美」

水蛭子型（同型艦17/SBB—18）SBB—34

「SBB—18、水蛭子」「SBB—19、大宜都比売」「SBB—20、大山津見」  
「SBB—21、大綿津見」「SBB—22、火之夜藝速男」「SBB—23、金山毘古」  
「SBB—24、金山毘売」「SBB—25、波邇夜須毘古」「SBB—26、波邇夜須毘売」  
「SBB—27、和久産巢日」「SBB—28、武御雷之男」「SBB—29、石析」  
「SBB—30、根析」「SBB—31、泣沢女」「SBB—32、豊宇気毘売」  
「SBB—33、閻淤加美」「SBB—34、閻御津羽」「SBB—35、甕速日」  
「SBB—36、樋速日」

天照型（同型艦19／SBB—36、SBB—54）

「SBB—36、天照」「SBB—37、月読」「SBB—38、健速須佐之男」  
「SBB—39、天手力男」「SBB—40、天鈿女」「SBB—41、忍穗耳」  
「SBB—42、邇邇藝」「SBB—43、八意思兼」「SBB—44、猿田彦」  
「SBB—45、天鳥船」「SBB—46、天忍日」「SBB—47、神阿多都」  
「SBB—48、天兒屋」「MBB—49、布刀玉」「MBB—50、伊斯許理度売」  
「MBB—51、天津久米」「MBB—52、玉祖」「MBB—53、天石門別」  
「MBB—54、大年」

主力戦艦 [Main Battle Ship / MBB] : 旧國名、異称〈71隻〉

大和型（同型艦8／MBB—207、MBB—214）

「MBB—207、大和」「MBB—208、武蔵」「MBB—209、吉備」「MBB—210、心安」

「MBB—211、眞秀場」「MBB—212、玉牆内」「MBB—213、信濃」

「MBB—214、扶桑」

長門型（同型艦10／MBB—215、MBB—224）

「MBB—215、長門」「MBB—216、出羽」「MBB—217、陸奥」「MBB—218、安芸」「MBB—219、甲斐」「MBB—220、土佐」「MBB—221、磐城」「MBB—222、佐渡」「MBB—223、淡路」「MBB—224、美作」

出雲型（同型艦9／MBB—225、MBB—233）

「MBB—225、出雲」「MBB—226、讃岐」「MBB—227、伯耆」「MBB—228、美濃」「MBB—229、石見」「MBB—230、対馬」「MBB—231、壱岐」「MBB—232、信濃」「MBB—233、阿波」

摂津型（同型艦11／MBB—234、MBB—284）

「MBB—234、摂津」「MBB—235、駿河」「MBB—236、山城」「MBB—237、伊豆」「MBB—238、丹波」「MBB—239、志摩」「MBB—280、上総」「MBB—281、上野」「MBB—282、常陸」「MBB—283、岩代」「MBB—284、隠岐」

紀伊型（同型艦14／MBB—285、MBB—298）

「MBB—285、紀伊」「MBB—286、河内」「MBB—287、和泉」「MBB—288、伊賀」「MBB—289、加賀」「MBB—290、能登」「MBB—291、備中」「MBB—292、若狭」「MBB—293、越前」「MBB—294、尾張」「MBB—295、三河」「MBB—296、筑後」「MBB—297、豊後」「MBB—298、

遠江」

伊勢型（同型艦9／MBB—299～MBB—307）

「MBB—299、伊勢」 「MBB—300、因幡」 「MBB—301、近江」 「MBB—302、播磨」 「MBB—303、伊予」 「MBB—304、日向」 「MBB—305、相模」 「MBB—306、大隅」 「MBB—307、陸中」

飛騨型（同型艦10／MBB—308～MBB—317）

「MBB—308、飛騨」 「MBB—309、薩摩」 「MBB—310、但馬」 「MBB—311、志輪上」 「MBB—312、秀眞」 「MBB—313、羽前」 「MBB—314、周防」 「MBB—315、丹後」 「MBB—316、難波」 「MBB—317、高砂」

汎用戦艦〔General Purpose Battle Ship  
ip/GPBB〕：海域〈50隻〉

筑紫型（同型艦10／GPBB—225～GPBB—234）

「GPBB—225、筑紫」 「GPBB—226、有明」 「GPBB—227、天草」

「GPBB—228、志布志」 「GPBB—229、甑」 「GPBB—230、錦江」

「GPBB—231、八代」 「GPBB—232、角力」 「GPBB—233、玄海」

「GPBB—234、白杵」

仙崎型（同型艦10／GPBB—235～GPBB—244）

「GPBB—235、仙崎」 「GPBB—236、美保」 「GPBB—237、備後」

「GPBB—238、瀬戸内」 「GPBB—239、燧」 「GPBB—240、志度」

「GPBB—241、明石」 「GPBA—242、鳴門」 「GPBB—2

43、紀淡

「GPBB—244、宿毛」

別府型（同型艦10／GPBB—146、GPBB—155）

「GPBB—146、別府」「GPBB—147、速吸」「GPBB—148、宇和」

「GPBB—149、宮津」「GPBB—150、伊良湖」「GPBB—151、英虞」

「GPBB—152、敦賀」「GPBB—153、七尾」「GPBB—154、渥美」

「GPBB—155、鹿島」

津軽型（同型艦10／GPBB—156、GPBB—165）

「GPBB—156、津軽」「GPBB—157、江戸」「GPBB—158、内浦」

「GPBB—159、平館」「GPBB—160、石巻」「GPBB—161、仙台」

「GPBB—162、唐丹」「GPBB—163、根室」「GPBB—164、奥尻」

「GPBB—165、小樽」

諫早型（同型艦10／GPBB—251、GPBB—260）

「GPBB—251、諫早」「GPBB—252、知多」「GPBB—253、豊予」

「GPBB—254、関門」「GPBB—255、博多」「GPBB—256、名護」

「GPBB—257、唐津」「GPBB—258、伊万里」「GPBB—259、中城」

「GPBB—260、追波」

巡洋艦〔Cruiser〕：2338隻

重巡洋艦〔Heavy Armored Cruiser／HCA〕：山岳、山脈、山地、峰山（132隻）

富士型（同型艦7／HC—1117、HC—123）

「HCA—1117、富士」 「HCA—1118、香久」 「HCA—1119、石狩」 「HCA—120、那岐」 「HCA—121、星居」 「HCA—122、妙見」 「HCA—123、津黒」

蔵王型（同型艦10／HCA—124、HCA—133）

「HCA—124、蔵王」 「HCA—125、妙義」 「HCA—126、矢筈」 「HCA—127、鹿嵐」 「HCA—128、阿蘇」 「HCA—129、塩見」 「HCA—130、那智」 「HCA—131、飯豊」 「HCA—132、愛鷹」 「HCA—133、瑞牆」

高千穂型（同型艦8／HCA—134、HCA—141）

「HCA—134、高千穂」 「HCA—135、皇海」 「HCA—136、赤石」 「HCA—137、磐梯」 「HCA—138、生駒」 「HCA—139、岩手」 「HCA—140、姫神」 「HCA—141、日高」

夕張型（同型艦11／HCA—142、HCA—152）

「HCA—142、夕張」 「HCA—143、羅臼」 「HCA—144、海別」 「HCA—145、豊似」 「HCA—146、笹森」 「HCA—147、荒海」 「HCA—148、那須」 「HCA—149、栗駒」 「HCA—150、高見」 「HCA—151、八剣」 「HCA—152、剣尾」

高雄型（同型艦6／HCA—153、HCA—158）

「HCA—153、高雄」 「HCA—154、愛宕」 「HCA—155、鳥海」 「HCA—156、摩耶」 「HCA—157、鞍馬」 「HCA—158、石槌」

白神型（同型艦9／HCA—159、HCA—167）

「HCA—159、白神」 「HCA—160、白根」 「HCA—161、

木曾「HCA—162、黒姫」HCA—163、恵那「HCA—164、雲仙」HCA—165、鶴見「HCA—166、鰐塚」HCA—167、尾鈴」

金剛型（同型艦13／HCA—168、HCA—180）

「HCA—168、金剛」HCA—169、比叡「HCA—170、榛名」HCA—171、霧島「HCA—172、春日」HCA—173、須賀「HCA—174、恩納」HCA—175、身延「HCA—176、乗鞍」HCA—177、伊那「HCA—178、八海」HCA—179、守門」  
「HCA—180、清澄」

穂高型（同型艦10／HCA—181、HCA—190）

「HCA—181、穂高」HCA—182、場照「HCA—183、羅漢」HCA—184、秋葉「HCA—185、足尾」HCA—186、浅草「HCA—187、吾妻」HCA—188、天城「HCA—189、岩木」HCA—190、神室」

赤城型（同型艦13／HCA—191、HCA—202）

「HCA—191、赤城」HCA—192、葛城「HCA—193、速日」HCA—194、夏木「HCA—195、久住」HCA—196、普賢「HCA—197、耳納」HCA—198、道後「HCA—199、鉢伏」HCA—200、釜臥「HCA—201、琴平」HCA—202、稻叢」  
「HCA—203、石立」

神威型（同型艦12／HCA—203、HCA—214）

「HCA—203、神威」HCA—204、忠別「HCA—205、羽黒」HCA—206、北見」  
「HCA—207、別狩」HCA—208、増毛「HCA—209、和賀」HCA—210、森吉」



「H C A—2 1 1、笠置」 「H C A—2 1 2、秩父」 「H C A—2 1 3、武甲」 「H C A—2 1 4、陣馬」

筑波型（同型艦11／H C A—2 1 5、H C A—2 2 5）

「H C A—2 1 5、筑波」 「H C A—2 1 6、雲取」 「H C A—2 1 7、雲早」 「H C A—2 1 8、笠取」

「H C A—2 1 9、岩菅」 「H C A—2 2 0、養老」 「H C A—2 2 1、医王」 「H C A—2 2 2、天王」

「H C A—2 2 3、龍門」 「H C A—2 2 4、寂地」 「H C A—2 2 5、高縄」

伊吹型（同型艦13／H C A—2 2 6、H C A—2 3 8）

「H C A—2 2 6、伊吹」 「H C A—2 2 7、諭鶴羽」 「H C A—2 2 8、浅野」 「H C A—2 2 9、古鷹」

「H C A—2 3 0、羽黒」 「H C A—2 3 1、藻岩」 「H C A—2 3 2、真昼」 「H C A—2 3 3、蓬萊」

「H C A—2 3 4、弁慶」 「H C A—2 3 5、稻庭」 「H C A—2 3 6、苗場」 「H C A—2 3 7、真妻」

「H C A—2 3 8、野坂」

音羽型（同型艦9／H C A—2 3 9、H C A—2 4 7）

「H C A—2 3 9、音羽」 「H C A—2 4 0、須磨」 「H C A—2 4 1、三笠」 「H C A—2 4 2、多良」 「H C A—2 4 3、両子」 「H C A—2 4 4、八幡」 「H C A—2 4 5、鷲峰」 「H C A—2 4 6、宝永」

「H C A—2 4 7、開聞」

軽巡洋艦〔Light Armored Cruiser／L C〕：  
河川、沢江、湖沼、池（106隻）

大淀型（同型艦11／L C—3 8 2、L C—3 9 2）  
「L C—3 8 2、大淀」 「L C—3 8 3、仁淀」 「L C—3 8 4、淀」 「L

C—3 8 5、江」

「LC—386、加古」「LC—387、高津」「LC—388、那賀」  
「LC—389、羽地」

「LC—390、比謝」「LC—391、嘉瀬」「LC—392、清武」

長良型（同型艦11／LC—393～LC—403）

「LC—393、長良」「LC—394、五十鈴」「LC—395、名取」  
「LC—396、由良」

「LC—397、鬼怒」「LC—398、阿武隈」「LC—399、樫野」  
「LC—400、厚東」

「LC—401、諏訪」「LC—402、手取」「LC—403、益田」

子吉型（同型艦16／LC—404～LC—419）

「LC—404、子吉」「LC—405、狩野」「LC—406、夕張」  
「LC—407、安倍」

「LC—408、気仙」「LC—409、本栖」「LC—410、穴道」  
「LC—411、美瑛」

「LC—412、猪名」「LC—413、武庫」「LC—414、尾瀬」  
「LC—415、印旛」

「LC—416、猪苗代」「LC—417、十和田」「LC—418、鷹架」  
「LC—419、胆沢」

球磨型（同型艦13／LC—420～LC—432）

「LC—420、球磨」「LC—421、多摩」「LC—422、北上」  
「LC—423、大井」

「LC—424、木曾」「LC—425、洞爺」「LC—426、支笏」  
「LC—427、白老」

「LC—428、足助」「LC—429、根尾」「LC—430、浜名」  
「LC—431、米代」

「LC—432、四万十」

阿賀野型（同型艦12／LC—433、LC—444）

- 「LC—433、阿賀野」
- 「LC—434、能代」
- 「LC—435、矢矧」
- 「LC—436、酒匂」
- 「LC—437、竜田」
- 「LC—438、楯保」
- 「LC—439、高粱」
- 「LC—440、周布」
- 「LC—441、美々津」
- 「LC—442、湧洞」
- 「LC—443、摩周」
- 「LC—444、風蓮」

川内型（同型艦15／LC—445、LC—459）

- 「LC—445、川内」
- 「LC—446、那珂」
- 「LC—447、加茂」
- 「LC—448、木津」
- 「LC—449、名寄」
- 「LC—450、尾幌」
- 「LC—451、忠類」
- 「LC—452、能取」
- 「LC—453、天塩」
- 「LC—454、涛沸」
- 「LC—455、雨竜」
- 「LC—456、馬淵」
- 「LC—457、尾駁」
- 「LC—458、斐伊」
- 「LC—459、只見」

最上型（同型艦10／LC—460、LC—469）

- 「LC—460、最上」
- 「LC—461、三隈」
- 「LC—462、鈴谷」
- 「LC—463、熊野」
- 「LC—464、利根」
- 「LC—465、筑摩」
- 「LC—466、吉野」
- 「LC—467、満濃」
- 「LC—468、香東」
- 「LC—469、雄物」

神通型（同型艦17／LC—470、LC—487）

- 「LC—470、神通」
- 「LC—471、成羽」
- 「LC—472、夷隅」
- 「LC—473、十勝」
- 「LC—474、音別」
- 「LC—475、無加」
- 「LC—476、網走」
- 「LC—477、釧路」
- 「LC—478、然別」
- 「LC—479、士幌」
- 「LC—480、神流」
- 「LC—481、花見」

「LC—482、琵琶」 「LC—483、隅田」 「LC—484、久慈」  
 「LC—485、千曲」  
 「LC—486、由良」 「LC—487、珍珠」

駆逐艦 「Destroyer/DD」:684隻

護衛駆逐艦 「Destroyer Escort/DE」:植物名

〈103隻〉

桜型 (同型艦52/DE—1022、DE—1073)

「DE—1022、桜」 「DE—1023、桃」 「DE—1024、榎」  
 「DE—1025、椿」  
 「DE—1026、榎」 「DE—1027、松」 「DE—1028、柿」  
 「DE—1029、栗」  
 「DE—1030、栂」 「DE—1031、椎」 「DE—1032、檜」  
 「DE—1033、梅」  
 「DE—1034、梧」 「DE—1035、朴」 「DE—1036、楓」  
 「DE—1037、梓」  
 「DE—1038、槐」 「DE—1039、榕」 「DE—1040、棟」  
 「DE—1041、檉」  
 「DE—1042、柳」 「DE—1043、梔」 「DE—1044、榧」  
 「DE—1045、枳」  
 「DE—1046、桐」 「DE—1047、橘」 「DE—1048、楠」  
 「DE—1049、榭」  
 「DE—1050、柗」 「DE—1051、櫟」 「DE—1052、楮」  
 「DE—1053、柏」  
 「DE—1054、桂」 「DE—1055、檜」 「DE—1056、榭」  
 「DE—1057、樺」  
 「DE—1058、桑」 「DE—1059、杉」 「DE—1060、檀」  
 「DE—1061、橙」  
 「DE—1062、柗」 「DE—1063、枋」 「DE—1064、楨」  
 「DE—1065、柗」

「DE—1066、梨」 「DE—1067、椒」 「DE—1068、榆」  
「DE—1069、檜」  
「DE—1070、薺」 「DE—1071、柴」 「DE—1072、楸」  
「DE—1073、柎」

椋型(同型艦51/DE—1074、DE—1128)

「DE—1074、椋」 「DE—1075、槿」 「DE—1076、樅」  
「DE—1077、椰」  
「DE—1078、柚」 「DE—1079、櫟」 「DE—1080、綿」  
「DE—1081、櫨」  
「DE—1082、柘」 「DE—1083、榉」 「DE—1084、柞」  
「DE—1085、杏」  
「DE—1086、葵」 「DE—1087、薊」 「DE—1088、茜」  
「DE—1089、莒」  
「DE—1090、黍」 「DE—1091、薄」 「DE—1092、董」  
「DE—1093、竹」  
「DE—1094、蓬」 「DE—1095、蓮」 「DE—1096、蘭」  
「DE—1097、藤」  
「DE—1098、葦」 「DE—1099、苧」 「DE—1100、菊」  
「DE—1101、菘」  
「DE—1102、橡」 「DE—1103、麻」 「DE—1104、樗」  
「DE—1105、荻」  
「DE—1106、菼」 「DE—1107、榛」 「DE—1108、菱」  
「DE—1109、撫菜」  
「DE—1110、蓮花」 「DE—1111、杜若」 「DE—1112、躑躅」 「DE—1113、銀杏」 「DE—1114、枸杞」 「DE—1115、胡桃」 「DE—1116、柘榴」 「DE—1117、芍藥」 「DE—1118、土筆」 「DE—1119、撫子」 「DE—1120、枇杷」 「DE—1121、百合」 「DE—1122、蜜柑」 「DE—1123、鬼灯」 「DE—1124、竜胆」 「DE—1125、林檎」 「DE—1126、牡丹」 「DE—1127、罌粟」 「DE—1128、紫陽花」

ミサイル駆逐艦〔Guided Missile Destroyer/DDG〕：雷、雲、雨、霧、靄へ124隻〈

雷型（同型艦20/DDDG-011～DDDG-028）

「DDG-011、雷」 「DDG-012、霹靂」 「DDG-013、初雷」 「DDG-014、神鳴」

「DDG-015、稲妻」 「DDG-016、雷霆」 「DDG-017、遠雷」 「DDG-018、迅雷」 「DDG-019、雷光」 「DDG-020、天雷」 「DDG-021、殷雷」 「DDG-022、界雷」 「DDG-023、渦雷」 「DDG-022、寒雷」 「DDG-023、秋雷」 「DDG-024、春雷」

「DDG-025、閃雷」 「DDG-026、奔雷」 「DDG-027、万雷」 「DDG-028、稲光」

初雲型（同型艦17/DDDG-029～DDDG-045）

「DDG-029、初雲」 「DDG-030、雪雲」 「DDG-031、雷雲」 「DDG-032、雨雲」 「DDG-033、黒雲」 「DDG-034、白雲」 「DDG-035、青雲」 「DDG-036、鱗雲」

「DDG-037、衣雲」 「DDG-038、朝雲」 「DDG-039、夕雲」 「DDG-040、八雲」

「DDG-041、浮雲」 「DDG-042、薄雲」 「DDG-043、南雲」 「DDG-044、東雲」

「DDG-045、彩雲」

瑞雲型（同型艦16/DDDG-046～DDDG-065）

「DDG-046、瑞雲」 「DDG-047、紫雲」 「DDG-048、蒼雲」 「DDG-049、叢雲」

「DDG-050、綿雲」 「DDG-051、夏雲」 「DDG-052、秋雲」 「DDG-053、春雲」

「DDG-054、朧雲」 「DDG-055、横雲」 「DDG-056、弓雲」 「DDG-057、燦雲」

「DDG—058、霧雲」 「DDG—059、月雲」 「DDG—060、日雲」 「DDG—061、虹雲」

初雨型（同型艦19／DDG—062、DDG—080）

「DDG—062、初雨」 「DDG—063、霧雨」 「DDG—064、白雨」 「DDG—065、淚雨」 「DDG—066、霖雨」 「DDG—067、夕立」 「DDG—068、煙雨」 「DDG—069、時雨」 「DDG—070、村雨」 「DDG—071、皐月雨」 「DDG—072、春雨」 「DDG—073、夏雨」 「DDG—074、秋雨」 「DDG—075、冬雨」 「DDG—076、水雨」 「DDG—077、糠雨」 「DDG—078、小雨」 「DDG—079、涼雨」 「DDG—080、山雨」

驟雨型（同型艦18／DDG—081、DDG—097）

「DDG—081、驟雨」 「DDG—082、地雨」 「DDG—083、慈雨」 「DDG—084、香雨」 「DDG—085、紅雨」 「DDG—086、麥雨」 「DDG—087、長雨」 「DDG—088、綠雨」 「DDG—089、神立」 「DDG—090、飛雨」 「DDG—091、鬼雨」 「DDG—092、翠雨」 「DDG—092、黒雨」 「DDG—093、宿雨」 「DDG—094、天泣」 「DDG—095、愛雨」 「DDG—096、天雨」 「DDG—097、糸雨」

初霧型（同型艦20／DDG—098、DDG—117）

「DDG—098、初霧」 「DDG—099、天霧」 「DDG—100、朝霧」 「DDG—101、夕霧」 「DDG—102、狹霧」 「DDG—103、濃霧」 「DDG—104、薄霧」 「DDG—105、夜霧」

「DDG—106、雲霧」 「DDG—107、煙霧」 「DDG—108、早霧」 「DDG—109、白霧」 「DDG—110、朝靄」 「DDG—111、夕靄」 「DDG—112、海霧」 「DDG—113、山霧」 「DDG—114、露霧」 「DDG—115、浜霧」 「DDG—116、峰霧」 「DDG—117、沢霧」

斑雲型（同型艦14／DDG—118、DDG—132）

「DDG—118、斑雲」 「DDG—119、西雲」 「DDG—120、北雲」 「DDG—121、海雲」 「DDG—122、谷雲」 「DDG—123、島雲」 「DDG—124、峰雲」 「DDG—125、宵雲」 「DDG—126、碧雲」 「DDG—127、風雲」 「DDG—128、水雲」 「DDG—129、入雲」 「DDG—130、滝雲」 「DDG—131、卷雲」 「DDG—132、冬雲」

汎用駆逐艦「Destroyer／DD」：雪、露、霜、風、波、潮、瀬〈281隻〉

初雪型（同型艦19／DD—2052、DD—2070）

「DD—2052、初雪」 「DD—2053、吹雪」 「DD—2054、峰雪」 「DD—2055、深雪」 「DD—2056、淡雪」 「DD—2057、白雪」 「DD—2058、細雪」 「DD—2059、浜雪」 「DD—2060、島雪」 「DD—2061、粉雪」 「DD—2062、霜雪」 「DD—2063、氷雪」 「DD—2064、玉雪」 「DD—2065、粒雪」 「DD—2066、水雪」 「DD—2067、餅雪」 「DD—2068、綿雪」 「DD—2069、薄雪」 「DD—2070、銀雪」



霧雪型 (同型艦22 / D D—2071、D D—2090)

「D D—2071、霧雪」 「D D—2072、回雪」 「D D—2073、冠雪」 「D D—2074、締雪」 「D D—2075、垂雪」 「D D—2076、新雪」 「D D—2077、晴雪」 「D D—2078、瑞雪」 「D D—2079、衾雪」 「D D—2080、根雪」 「D D—2081、暮雪」 「D D—2082、斑雪」 「D D—2083、忘雪」 「D D—2084、宿雪」 「D D—2085、湿雪」 「D D—2086、驟雪」 「D D—2087、灰雪」 「D D—2086、凍雪」 「D D—2087、朝雪」 「D D—2088、舞雪」 「D D—2089、小米雪」 「D D—2090、名残雪」

霜露型 (同型艦13 / D D—2091、D D—2103)

「D D—2091、霜露」 「D D—2092、白露」 「D D—2093、甘露」 「D D—2094、朝露」 「D D—2095、夜露」 「D D—2096、雨露」 「D D—2097、下露」 「D D—2098、玉露」 「D D—2099、草露」 「D D—2100、曉露」 「D D—2101、結露」 「D D—2102、零露」 「D D—2103、宵露」

初霜型 (同型艦10 / D D—2104、D D—2113)

「D D—2104、初霜」 「D D—2105、朝霜」 「D D—2106、晚霜」 「D D—2107、降霜」 「D D—2108、霜柱」 「D D—2109、清霜」 「D D—2110、深霜」 「D D—2111、早霜」 「D D—2112、露霜」 「D D—2113、水霜」

雪霜型 (同型艦8 / D D—2114、D D—2123)

「D D—2114、雪霜」 「D D—2115、春霜」 「D D—2116、宵霜」 「D D—2117、冬霜」

「DD—2118、薄霜」 「DD—2119、秋霜」 「DD—2120、樹霜」 「DD—2121、星霜」

初風型（同型艦37／DD—2122、DD—2158）

「DD—2122、初風」 「DD—2123、疾風」 「DD—2124、微風」 「DD—2125、東風」

「DD—2126、西風」 「DD—2127、南風」 「DD—2128、北風」 「DD—2129、良風<sup>ならい</sup>」

「DD—2130、巽風<sup>いなさ</sup>」 「DD—2131、野分」 「DD—2132、清風」 「DD—2133、涼風」

「DD—2134、瑞風」 「DD—2135、春風」 「DD—2136、夏風」 「DD—2137、秋風」

「DD—2138、冬風」 「DD—2139、雨風」 「DD—2140、旋風」 「DD—2141、浴風」

「DD—2142、颶風」 「DD—2143、時津風」 「DD—2144、秋津風」

「DD—2145、追風」 「DD—2146、和風」 「DD—2147、天津風」

「DD—2148、烈風」 「DD—2149、冷風」 「DD—2150、緑風」 「DD—2151、朔風」 「DD—2152、順風」 「DD—21

53、逆風」 「DD—2154、江風」 「DD—2155、突風」 「DD—2156、霧風」 「DD—2157、太刀風」 「DD—2158、卷風」

神風型（同型艦24／DD—2159、DD—2182）

「DD—2159、神風」 「DD—2160、山風」 「DD—2161、峯風」 「DD—2162、海風」

「DD—2163、浜風」 「DD—2164、浦風」 「DD—2165、沖風」 「DD—2166、渦風」

「DD—2167、澤風」 「DD—2168、早風」 「DD—2169、弓風」 「DD—2170、矢風」

「DD—2171、陣風」 「DD—2172、朝風」 「DD—2173、夕風」 「DD—2174、岸風」  
「DD—2175、磯風」 「DD—2176、沼風」 「DD—2177、波風」 「DD—2178、羽風」  
「DD—2179、灘風」 「DD—2180、晴風」 「DD—2181、日風」 「DD—2182、潮風」

磯雪型（同型艦11／DD—2183、DD—2193）

「DD—2183、磯雪」 「DD—2184、瀬戸雪」 「DD—2185、霰雪」 「DD—2186、霰雪」  
「DD—2187、残雪」 「DD—2188、砂雪」 「DD—2189、流雪」 「DD—2190、葉雪」  
「DD—2191、叢雪」 「DD—2192、岩雪」 「DD—2193、古雪」

雪風型（同型艦19／DD—2194、DD—2212）

「DD—2194、雪風」 「DD—2195、爽風」 「DD—2196、荒風」 「DD—2197、舞風」  
「DD—2198、蒼風」 「DD—2199、草風」 「DD—2200、散風」 「DD—2201、旗風」  
「DD—2202、帆風」 「DD—2203、吹風」 「DD—2204、谷風」 「DD—2205、薰風」  
「DD—2206、若風」 「DD—2207、澄風」 「DD—2208、白風」 「DD—2209、逆風」  
「DD—2210、嵐風」 「DD—2211、竜巻」 「DD—2212、萩風」

夜風型（同型艦23／DD—2213、DD—2235）

「DD—2213、夜風」 「DD—2214、花風」 「DD—2215、枝風」 「DD—2216、松風」  
「DD—2217、藤風」 「DD—2218、根風」 「DD—2219、

打風「DD—2220、白風」  
「DD—2221、魔風」  
「DD—2222、島風」  
「DD—2223、森風」  
「DD—2224、宵風」  
「DD—2225、押風」  
「DD—2226、露風」  
「DD—2227、葉風」  
「DD—2228、陸風」  
「DD—2229、雄風」  
「DD—2230、野風」  
「DD—2231、辻風」  
「DD—2232、乾風」  
「DD—2233、光風」  
「DD—2234、山背」  
「DD—2235、惠風」

初波型（同型艦12／DD—2523、2534）

「DD—2523、初波」  
「DD—2524、卷波」  
「DD—2525、花波」  
「DD—2526、松波」  
「DD—2527、藤波」  
「DD—2528、潮波」  
「DD—2529、霧波」  
「DD—2530、荒波」  
「DD—2531、逆波」  
「DD—2532、白波」  
「DD—2533、年波」  
「DD—2534、余波」

高波型（同型艦15／DD—2535、DD—2549）

「DD—2535、高波」  
「DD—2536、漣」  
「D3—2537、津波」  
「DD—2538、波路」  
「DD—2539、島波」  
「DD—2540、雪波」  
「DD—2541、沖波」  
「DD—2542、浦波」  
「DD—2543、浜波」  
「DD—2544、大波」  
「DD—2545、岸波」  
「DD—2546、瀬戸波」  
「DD—2547、立波」  
「DD—2548、涼波」  
「DD—2549、荒波」

綾波型（同型艦11／DD—2550、DD—2560）

「DD—2550、綾波」  
「DD—2551、早波」  
「DD—2552、玉波」  
「DD—2553、泡波」

「DD—2554、岩波」 「DD—2555、敷波」 「DD—2556、清波」 「DD—2557、水波」 「DD—2558、伊予波」 「DD—2559、時波」 「DD—2560、縦波」

渦波型（同型艦13／DD—2561、DD—2573）

「DD—2561、渦波」 「DD—2562、月波」 「DD—2563、朝波」 「DD—2564、露波」 「DD—2565、打波」 「DD—2566、門波」 「DD—2567、引波」 「DD—2568、夕波」 「DD—2569、夜波」 「DD—2570、宵波」 「DD—2571、淵波」 「DD—2572、磯波」 「DD—2573、灘波」

初潮型（同型艦10／DD—2574、DD—2583）

「DD—2574、初潮」 「DD—2575、潮」 「DD—2576、波潮」 「DD—2577、打潮」 「DD—2578、満潮」 「DD—2579、干潮」 「DD—2580、高潮」 「DD—2581、鳴潮」 「DD—2582、沖潮」 「DD—2583、長潮」

澄潮型（同型艦11／DD—2584、DD—2596）

「DD—2584、澄潮」 「DD—2585、巻潮」 「DD—2589、渦潮」 「DD—2590、浜潮」 「DD—2591、浦潮」 「DD—2591、灘潮」 「DD—2592、荒潮」 「DD—2593、立潮」 「DD—2594、逆潮」 「DD—2595、出潮」 「DD—2596、入潮」

磯潮型（同型艦12／DD—2597、DD—2608）

「DD—2597、磯潮」 「DD—2598、黒潮」 「DD—2599、

親潮「DD—2600、春潮」  
「DD—2601、夏潮」  
「DD—2602、秋潮」  
「DD—2603、冬潮」  
「DD—2604、立潮」  
「DD—2605、雨潮」  
「DD—2606、真潮」  
「DD—2607、涼潮」  
「DD—2608、早潮」

初瀬型（同型艦11／DD—2609、DD—2618）

「DD—2609、初瀬」  
「DD—2610、立瀬」  
「DD—2611、早瀬」  
「DD—2612、打瀬」  
「DD—2613、引瀬」  
「DD—2614、浅瀬」  
「DD—2615、深瀬」  
「DD—2616、河瀬」  
「DD—2617、長瀬」  
「DD—2617、波瀬」  
「DD—2618、潮瀬」

襲撃駆逐艦〔Assault Destroyer／DDA〕：日、月、嵐、虹、気、蜃（176隻）

初日型（同型艦7／DDA—001、DDA—007）

「DDA—001、初日」  
「DDA—002、子日」  
「DDA—003、暁」  
「DDA—004、曙」  
「DDA—005、朝日」  
「DDA—006、朝朗」  
「DDA—007、黎明」

天日型（同型艦9／DDA—008、DDA—016）

「DDA—008、天日」  
「DDA—009、烈日」  
「DDA—010、白日」  
「DD—011、旭日」  
「DDA—012、昶日」  
「DDA—013、照日」  
「DDA—014、日輪」  
「DD—015、日和」  
「DDA—016、天道」

黄昏型（同型艦5／DDA—017、DDA—021）

「DDA—017、黄昏」  
「DDA—018、夕日」  
「DDA—019、

入日「DDA—020、斜陽」  
「DDA—021、日暮」

睦月型（同型艦20／DDA—022、DDA—041）

「DDA—022、睦月」  
「DDA—023、端月」  
「DDA—024、祝月」

「DDA—025、初空月」  
「DDA—026、如月」  
「DDA—027、令月」

「DDA—028、梅見月」  
「DDA—029、初花月」  
「DDA—030、雪消月」

「DDA—031、弥生」  
「DDA—032、花見月」  
「DDA—033、嘉月」  
「DDA—034、宿月」  
「DDA—035、卯月」  
「DDA—036、卯花月」  
「DDA—037、鳥来月」

「DDA—038、花残月」  
「DDA—039、皐月」  
「DDA—040、午月」  
「DDA—041、早月」

早苗月型（同型艦20／DDA—042、DDA—061）

「DDA—042、早苗月」  
「DDA—043、水無月」  
「DDA—044、葵月」

「DDA—045、旦月」  
「DDA—046、鳴神月」  
「DDA—047、文月」

「DDA—048、七夜月」  
「DDA—049、七夕月」  
「DDA—050、相月」

「DDA—051、婦月」  
「DDA—052、蘭月」  
「DDA—053、葉月」

「DDA—054、桂月」  
「DDA—055、女郎花月」  
「DDA—056、壮月」

「DDA—057、雁来月」  
「DDA—058、長月」  
「DDA—059、寢覚月」

「DDA—060、夜長月」  
「DDA—061、月見月」

菊月型（同型艦18／DDA—062、DDA—079）

「DDA—062、菊月」「DDA—063、神無月」「DDA—064、紅葉月」

「DDA—065、良月」「DDA—066、陽月」「DDA—067、神去月」

「DDA—068、霜月」「DDA—069、雪待月」「DDA—070、霜降月」

「DDA—071、神樂月」「DDA—072、神歸月」「DDA—073、師走」

「DDA—074、雪見月」「DDA—075、終月」「DDA—076、果月」

「DDA—077、除月」「DDA—078、忙月」「DDA—079、臘月」

初嵐型（同型艦6／DDA—080、DDA—085）

「DDA—080、初嵐」「DDA—081、春嵐」「DDA—082、夜嵐」「DDA—083、青嵐」

「DDA—084、花嵐」「DDA—085、立嵐」

初月型（同型艦19／DDA—086、DDA—104）

「DDA—086、初月」「DDA—087、春月」「DDA—088、夏月」「DDA—089、秋月」

「DDA—090、冬月」「DDA—091、照月」「DDA—092、白月」「DDA—093、黒月」

「DDA—094、涼月」「DDA—095、真月」「DDA—096、弓月」「DDA—097、海月」

「DDA—098、陰月」「DDA—099、夜月」「DDA—100、宵月」「DDA—101、舞月」

「DDA—102、天月」「DDA—103、清月」「DDA—104、朧月」



新月型（同型艦25／DDA—105、DDA—124）

「DDA—105、新月」 「DDA—106、朔月」 「DDA—107、  
織月」 「DDA—108、三日月」  
「DDA—109、若月」 「DDA—110、眉月」 「DDA—111、  
虚月」 「DDA—112、彎月」  
「DDA—113、偃月」 「DDA—114、鈎月」 「DDA—115、  
半月」 「DDA—116、破月」  
「DDA—117、弦月」 「DDA—118、恒月」 「DDA—119、  
満月」 「DDA—120、円月」  
「DDA—121、望月」 「DDA—122、盈月」 「DDA—123、  
虧月」 「DDA—124、老月」

暁月型（同型艦25／DDA—125、DDA—149）

「DDA—125、暁月」 「DDA—126、残月」 「DDA—127、  
夕月」 「DDA—128、斜月」  
「DDA—129、月輪」 「DDA—130、佳月」 「DDA—131、  
素月」 「DDA—132、無月」  
「DDA—133、雨月」 「DDA—134、淡月」 「DDA—135、  
烟月」 「DDA—136、薄月」  
「DDA—137、明月」 「DDA—138、霞月」 「DDA—139、  
皓月」 「DDA—140、寒月」  
「DDA—141、孤月」 「DDA—142、青月」 「DDA—143、  
古月」 「DDA—144、高月」  
「DDA—145、結月」 「DDA—146、雪月」 「DDA—147、  
瑞月」 「DDA—148、峰月」  
「DDA—149、花月」

凧型（同型艦23／DDA—150、DDA—174）

「DDA—150、凧」 「DDA—151、霞」 「DDA—152、隴」  
「DDA—153、霰」  
「DDA—154、霽」 「DDA—155、雹」 「DDA—156、蜃氣」

「DDA—158、陽炎」  
「DDA—159、不知火」  
「DDA—160、食尽」  
「DDA—161、日和」  
「DDA—162、震」  
「DDA—163、響」  
「DDA—164、飭」  
「DDA—165、氣嵐」  
「DDA—167、陰」  
「DDA—168、早」  
「DDA—169、虹霓」  
「DDA—170、氷柱」  
「DDA—171、雪崩」  
「DDA—172、曇」  
「DDA—173、時化」  
「DDA—174、潮騒」

全長：105m 全幅：16m 喫水：8m 全高：15m 最高速度：2.13km/min

主兵装：口径230.6mm連装砲2基4門（直径230.6mm×全長522mm砲弾）

誘導弾発射筒12×20セル

口径239.57mm単装電磁投射砲 轟雷？（直径23

9.57mm×全長661.48mm砲弾）

副兵装：口径118mm単装速射砲4門（直径118mm×全長388mm砲弾）

14式対空迎撃機関銃6門（直径53mm×全長62mm銃弾）

最大乗員：戦闘要員258人、操艦要員137人、計395人

潜水母艦 [Submarine Tender/SBT]：鯨、◇

大鯨型（同型艦8/SBT—21）S/BT—28

「SBT—21、大鯨」  
「SBT—22、黒鯨」  
「SBT—23、青鯨」

「SBT—24、白鯨」

「SBT—25、深鯨」  
「SBT—26、海鯨」  
「SBT—27、迅鯨」

「SBT—28、王鯨」

洋鯨型（同型艦8/SBT—29）S/BT—36

「SBT—29、洋鯨」「SBT—30、馨鯨」「SBT—31、叢鯨」  
「SBT—32、雷鯨」  
「」「」「」

潜水艦〔Submarine〕SS〔通し番号〕○

汎用潜水艦〔General Purpose Submarine〕  
e/GPSS〕

泳竜（同型艦12/GPSS—1）GPSS—12）

泳竜壱ゝ泳竜壱拾式

## Prologue

### 第零話前 転移前夜

時は西暦2057年。仮想現実Virtual Reality実の世界に感覚・精神・意識を完全没入させる技術、通称フルダイブシステムが完成してから20年以上が経過した頃。

24年8ヶ月、およそ四半世紀という長い年月の中で、全世界で発売・配信されたVRゲーム作品は累計6100タイトル以上。

その中でもMMORPG、FPS、オープンワールド、ウォーシミュレーション、アダルトゲームの五つの分野が絶大な人気を誇っており、実際に全てのゲームタイトルのおよそ50%。実に3000以上のタイトルが上記五つのいずれかであった。

四半世紀もの間世界を熱狂させたVRゲームの人気はもはや衰えることを知らず、むしろ年月を重ねることに過熱する一方で、需要に対して供給が追い付かないことすら当たり前だった。

しかしその長い発展の歴史の中でも、人気の低下などを理由に姿を消した作品や、名前を知る者が少ないマイナー作品に分類されるものも存在する。当然これらのゲームが脚光を浴びる機会是非常に少ない。

だが、知名度が限りなくゼロに等しい作品を愛好し、周囲に紹介する者もいる。その結果として知名度が上昇してリメイクされたり、マイナー作品から脱却してメジャー作品の仲間入りすることもある。

しかし悲しいかな、この逆の現象も必ず起こる。人気タイトルであっても運営会社の倒産や、方針の転換などによってサービスが終了することがある。

そして同年5月16日。以上の例に漏れず数ある複合型オープンワールドゲームの中でも登録ユーザー5000万人以上、動画共有サービスにおける実況動画投稿数3億本以上を誇る大人気ウォーシミュレーションゲームであるAnother World War

s<が、運営会社の意向によるサービス終了に伴い18年の歴史に幕を降ろすことになった。

もちろん長い間自らが生きている世界、(AWW)が終わる当日の夜には多くのユーザーがサーバーに集まり、こちらでしか会えない友人や長年競い合ったライバルたちと共に、あるいは一人で静かにと皆思い思いに最後の夜を過ごしている。

そんな中、ゲーム内でも超大国の称号を持つ十ヶ国の代表たちが、一つの国に集まっていた。

「西暦2057年5月16日 20時05分」

《大御和皇国 八之神大京 中央第壹地区縁祥 大皇宮殿》

君主の宮の入り口に五十数人の男女が集まっている。彼らこそ超大国の代表たるプレイヤーとその友人・家族である。

「ここで集まるのは久しぶりだね。待っていたよみんな。それから、こどもたちも」

薄い黄色を基調とした束帯そくたいに身を包み、穏やかな笑顔で一行を迎える青年。名を「神ノ世真言」かんのよまこと。日本サーバー・世界ランキング共に第一位の超大国、大御和皇国の大皇おおすめちみぎである。

「今夜はみんなで厄介になるぜ、先輩」オヤジ

真っ黒なスーツと白のネクタイ、そして白のワイシャツに身を包む骨太の男。名は「コンラート・ペイル」Koenraat Pijl。

北欧サーバー第二位、世界ランク第九位の超大国、《エンクライド共和国》President 大統領。

「お久しゅうござんす、真言殿。またお世話になります」まこと

紫色の地に花や川の刺繍ししゅうが施された和服に身を包み、京言葉で話す女性、【塩川彩】しおかわあや。

日本サーバー第三位、世界ランク第八位の超大国、《扶桑皇国》にようこう 女皇。  
「………感謝………言先生………」ありがと 真言さん

龍の模様が描かれた黄色の冕服べんふくを身に纏まとい、濃い黒色の冕冠べんかんを被つた寡黙な少年、【玉雷統】たまらいどう。

中国サーバー第一位、世界ランク第五位の超大国、《海盤》?????皇帝。

「おなかすいたー！早くみんなで御飯食べたーい！」

紫・濃紺・青の蛍光ラインが描かれた漆黒のボディスーツを肌着代わりに、真っ黒なフードつきロングコートと黒い服、そして黒のハーパンツと黒尽くしの服を身につけた、いかにも天真爛漫てんしんらんまんという言葉そのまゝま絵に描いたような態度の幼い少年は、  
【エヴゲニー・クルニコフ】。  
【エヴゲニー・クルニコフ】。

西ロシアサーバー第二位、世界ランク第七位の超大国、《クドラク帝国》Царство帝王。

「エヴゲニー待ってよー！」

そしてエヴゲニーの後ろを追いかける少女は、エヴゲニーのガールフレンドであり、西ロシアサーバー第一位、世界ランク第六位の超大国《ドレヴオボグ連邦》Председатель大統領【カチューシャ】こと【エカチエリーナ・クルニコヴァ】。

「久しぶりだな真言。達者な様ようで何よりだ」

コンラートとは対象的に純白のスーツとネクタイで着飾った、銀髪とグレーの瞳を持つ長身で細身の男、【高千穂隼人】たかちほはやと。

日本サーバー第四位、世界ランク第十位の超大国、《熊襲連合国》首相。

「遅くなりましたが、お久しぶりです、真言さん」

ナチス親衛隊の制服を真っ白にしたかのような、中二病罹患者の心をくすぐ撥る衣装を身に纏う金髪碧眼の青年、【ヒルデベルト・ヴァッテンバッハ】。

北欧サーバー第一位、世界ランク第二位の超大国、《神聖グロウデア帝国》Kaiser大帝。

「夜分遅く失礼します、師匠」おじさん

着崩した迷彩服から除く真っ黒な肌が特徴的なメラニズムの少女、  
舞【マイ・リーゼル・ヘッダ・ナツメ】Rieseli Hedda Natsume。

日本サーバー第二位、世界ランク第四位の超大国、《軍事国家オリュンポス》Führer総統。

「やあー！さつきぶりだな相棒」親友

黒縁と赤のベレー帽と金ボタンが煌めく深緑色の軍服。その上からブラウンのロングコートを着こむ大柄な黒人の男、「ケネス・ハンフリー」。

アメリカサーバー第一位、世界ランク第三位の超大国、《ウェドニス連邦》大統領。

ここに、自国を超大国へと導いた十人の覇者が、最後の瞬間を共にするため集結した。

「[同年同日 23時55分]」

《中央第壹地区星辰門 扇町通》

「後五分でこの世界が消えるんだよな……」

ネオンと街灯に照らされ、多くのNPCが行き交う深夜の街を歩き、仮想の夜空に浮かぶ巨大な満月を眺めながら、深紅の衣装を纏う青年「アルテュール・ルセル」が呟く。

「ああ。短い間だが、最後にいい思い出ができたよ」

アルテュールの言葉に答えるのは、焦げ茶色を基調とした軍服姿の男「ギユンター・ベンゲン」。

二人はAWW中でも珍しい、国家を作ることせず自らの足で世界を旅し、各地で傭兵や行商人として活動する流浪者と呼ばれるプレイヤーである。

当然ながら旅をするという目的のもと、戦争当事国や紛争地帯などに危険を承知で足を運ぶことも多々あり、多くのプレイヤーから敬遠される存在だが、彼ら流浪者の活動が時に思いもよらぬ経済効果を生み出すこともあるため、初心者プレイヤーからはとても頼りにされているのが実情である。

そして、アルテュールとギユンターの二人は、AWWにおいて数少ない流浪者の実況者であり、チャンネル登録者数600万人以上の人気実況配信者である。

しかし、なぜ二人がこのような場所にいるのか。

実は二人は昨日動画投稿者としての活動を完全に終了し、本業である会社員として生活しようとしていた。その祝いを兼ねて御和に訪

れているのだ。

「ギョンター、記念に歌を詠んでおこうぜ。惚けてたら最後の時間がもつたいない」

「そうだな。下の句は頼む」

深呼吸。まず心を落ち着けて言葉を整理する。そして、頭に浮かんだ言葉を声に出す。

——願わくは 天に満ちたる 望月の——

——瞬きの間の咲みを忘れじ——

「同年同日 23時58分」

《中央第壹地区縁祥 大皇宮殿》

会食が終わった後、各国の代表らは各々が自由な時間を過ごしていた。

例えば彩は庭園に咲き誇る花々を眺めながら羽虫たちと戯れ、エウゲニーやカチューシャ、そして首脳各自が連れて来た子供たちは皇居をまるごと使って鬼ごっこやらかくれんぼやらをして遊び、隼人とコシラートはチェスをしている。

そして、玉とマイはというと。

「嘿、舞先生……」

玉がマイに話しかける。

「自從我直接與交談以來已經有一段時間了。怎麼了？」

玉の言葉に対し、マイは流麗な中国語で返す。

「……舞さんは言さんノこと……どう思ってる？……」

玉は片言な日本語でマイに質問する。対して、マイはゆっくりと目を閉じ、少し間をおいてから答えた。

「そうねえ……強いて言うなら、師匠は私にとって神様みたいな人かしらね」

マイの言葉の意味は玉には理解できなかったが、玉はとりあえず言葉を返しておく。



「よクわカラないけど………舞<sup>ウ</sup>さんが言<sup>イ</sup>さんのコトを神様だつテ  
思うのならきつとソウなんだね」

一方の真言は、執務室でぼんやりと月を眺めながら、18年間の記憶を思い出している。ゲームの世界でもいいことばかりではなく、挫折しそうになった経験は数知れず。初めの頃は幾度となく亡国の危機を迎え、それでも尚として諦めずに国を導<sup>導引</sup>き続け、大皇としての役目を果たして来た。

そして、今夜自分の役割が終わる。一国の君主という大役を任せられ、その役割の元国を発展させるという大事業を多くの人々の協力によって成し遂げた。

これでもうこの世界に未練はない。もう少しで、後十数秒で全てが終わる。

は—  
ず—  
だ—  
つ—  
た—  
。

## 第零話中 転移↓初接触

〔西暦2057年 5月17日 00時00分〕

突如として各超大国の領土全域を震度5の地震が襲った。小規模ではあるものの、一地点に限定してというならばまだしも陸地全てという広範囲で地震が発生するとなれば、さすがに耐震性建築物の少ない地域の被害は避けられなかった。

当然ながら常日頃より地震が発生するような場所ではない地域に住む人々の混乱ぶりは相当だった。普段からニュースや教科書、避難訓練程度でしか地震に触れていない地域で地震が発生すれば、そもそもより地震に対してなんの備えもしていない現地の住民が大慌てで避難しようとし、その結果として事故が多発する。

事故が発生すれば混乱が広がり、ただでさえパニック状態になっている人々がさらに恐慌状態になることで秩序が失われて身動きがでない状況になる。

動きを阻害されればさらに混沌とした状態となり、大規模な事故・事件へと発展してしまう。

この影響はもちろんどこにでも飛び火するものだ。病院は膨大な数の救急要請にてんてこ舞いで、警察と消防は突然出動命令を承けて緊急出動しようにも装備が足りずに立ち往生、周囲に火山が存在する地域では地震の影響で休火山となっっているはずの火山の活動が何の前触れもなく再開し、住民の避難誘導のために軍が出動する事態に。

沿岸部に至っては高さ平均2 m以上の高波が各国で観測され、漁村の住民に緊急避難命令を出した上で海軍、沿岸警備隊、水上警察、洋上武装学校までが警戒のため総動員される始末である。

すでにサービスが終了し、完全に消滅しているはずのゲームになぜこのような異常事態が起こったのか。誰かが外部から干渉したのか、それともただのバグなのか、現状ではまだわかっていない。

〔同年同日 00時12分〕



「はあ……アタシ達ホントにツいてないわあ……」

バーバヤーガ校の整備科に通う第三学年の生徒の一人、ポリーナ・ПоллинаバベンコБавенкоが魚雷発射筒の射出口の点検をしながら、同じく整備科第三学年で同級生のユリーヤ・ポターニナЮлия Потанинаに愚痴をこぼす。

現在の気温は実に零下13℃で、水温は零下23℃マイナス。万一でも海に落ちれば即座に凍死だ気温がマイナス三度以下であるにも関わらず流水がないのはプログラムミスによるもの。故にドレヴォボグの港は基本的に不凍港。

「この冬真っ只中のすごく寒い時期……それも真夜中に学生が海上警備だなんて、戦時中じゃあるまいし……」

ユリーヤは何度目かもわからない、冷たい空気を吸い込みすぎておそらく外気より冷たくなつたであろうため息を吐く。

実際彼女の言うとおり、いくら軍属の人間と言えどまだ18歳前後の学生、それも女子が軍事訓練や戦時中の人員不足以外の理由で沿岸警備に駆り出されることなどまずありえない。

しかし軍の関係者から説明されたとおり(荒唐無稽だが)、建国以来類を見ない国難であることに変わりはないので、生徒側の多くは入隊してからが大変なのだから今同じことがあっても仕方がないと割り切って職務に就いている。

「いくら何でもこんな危険洋上警備なことを学生にさせますか!？」

突如として吹っ切れたユリーヤが、怒りを吐き出すように海に向かつて叫んだ。

「ユリーヤ落ち着きなよ。そういうことは砲術科とか、水雷科とか、まあ戦闘組の言うことだしさ、アタシたち整備兵が出る幕じゃないから」

ポリーナは荒ぶるユリーヤを諫めるが、ユリーヤは工具箱から乱暴にドライバーとペンチを取り出すと一つ隣の魚雷発射筒の整備を始めた。

(……こうなるともう何も聞こえてないんだよねえ……帰港したらいっぱい甘えさせてあげよう……)

「同年同日 00時35分」

《ドレヴオボグ連邦 タンツイ・フ・トウマニ半島沖40km  
チエムノイエ海》

海軍第14艦隊旗艦 航空戦艦〈クルースニク〉艦橋

通信員

「提督閣下!Адмирал! 本艦より先行Сообщение する  
駆逐艦よпредыдущего 報告あり!эсминца!」

クルースニク艦長(第14艦隊提督)

「報告の内容は?Читайте вслух!」

通信員

「本艦前方より、国籍ならびに所属Проверка на боруженны  
不明の武装船をКорабли не извествого  
多数確認せりГражданства!」

砲術長

「艦長、何故Капитан, пожалуйста  
御指示は?дайте мне инструкции?」

艦長

「午前00時38分、現時刻をもって所属不明艦隊アンノウンとの接触を図る。不用意の刺激による相手側からの迎撃を避けるため、軍艦旗ならびに国旗は艦尾に移動し、主砲副砲は全て最大射角に。全艦に通達しろ」

通信長

「全艦、軍艦旗及び国旗を艦尾に移動!」

クルースニク通信長

『主砲と副砲も全て最高射角に上げ、提督の指示を待て!』

駆逐艦〈デユエニヤ〉通信員

「旗艦より指示あり!アンノウンと接触するため、国旗及び軍艦旗を艦尾に移動し、全ての砲の射角を最大に上げよとのこと!」

デユエニヤ艦長

「わかった。総員に告ぐ!至急全ての砲を最高射角にし、識別旗以外の全ての旗を艦尾に移動せよ!復唱!」

デユエニヤレーダー員

「艦長待ってください！反応位置に艦ではなく人がつ……………いやつ、少女の姿をした何かが海の上を歩いてます！」

デュエニヤ艦長

「なんだと……………!?!」

「〔西暦2019年8月1日 00時33分〕」

《タンツイ・フ・トウマニ半島沖43km チェムノイエ海》

未確認領域Unknown Field。西暦2019年5月末に津軽湾、広島湾、内海湾、東京湾、伊勢湾、錦江湾、有明海の七ヶ所に突如として出現した謎のゲートの内側に広がる同一の惑星に存在する広大な海の地球側での呼称。調査艦隊へサーフェスへ

「しかし寒っ！ねえ【響】！今の気温何度なの!?!」

調査艦隊の旗艦を務める巡洋艦、【大井】が駆逐艦の響に話しかける。

「ふう、ふう……………少し待って……………出た。気温マイナス16℃、水温マイナス31℃」

響はしばし計器を眺め、算出された数字を淡々と報告する。もちろんこの言葉にはその場にいる全員が驚愕した。

「氷点下16℃おっ!?!勘弁して欲しいっぽい！これ帰還するまでに絶対病気になるやつだっぽい！」

「艦娘だって風邪ひくことぐらい分かんだろうがクソ提督共！なんてことさせなんだよ！」

響の報告に駆逐艦【夕立】がちょうど《叫び》のポーズで絶叫し、天龍は顔を真っ赤にして怒鳴る。

「……………ワタシ達ヲ凍死サセル気力……………?」

同じく響の報告を聞いた【港湾棲姫】（個体名埠）もため息を吐く。

「……………そうでなくても悪意が丸見えよ……………ん?」

海の果てを眺めながら【雷】が呟いた。が、その直後。

「ちよつとみんな！船がこっちに来てる！」

雷は接近してくる船に興奮し、他の艦娘の方に向かって叫ぶ。

この言葉に一同が反応した。

「「はああ~~~~っ!?!」」

ここに、並行世界とバーチャルの存在が初の接触を果たした。

## 第零話後・上 提督たちの憂鬱2019

「〔西暦2019年 8月1日 午前1時35分〕」

《日本国 広島県 呉市 海上自衛隊呉地方隊総司令部（呉鎮守府）》  
「さて……ついさつきサーフェスから報告があつたんだが、今の今まで陸地が確認できなかったゲートの向こう側に突然陸地と人が出現し、さらに不可解なことに気温水温ともに氷点下になっているのとどだ。これは一体どういうことなのかわかる奴はいるか？」

呉鎮守府所属【門ヶ崎一士】もんがさきいっし海将がテーブルを囲む十数人の幕僚を見回しながら言う。

幕僚たちは一斉に【午尾光一郎】うまのおこういちろう一等陸曹の方を向き、視線が集中する。

「（なんで俺が広島まで連れて来られてこんなことしなきゃいけないんだよ……）」

「午尾黙れ、お前うるさい」

「ひつどつーちよつとひどくない!？」

小声で愚痴を垂れた午尾に対して【犬神巧夜】いぬがみたくや一等空曹が辛辣な言葉を投げ掛け、それに午尾が反応し反論する。

それを尻目に【醍醐用祐】たいごようすけ三等海佐が挙手した。

「醍醐、お前の意見は？」

「調査班からの報告を読む限り、少なくとも人が住める場所が存在するというのは確かでしょう。しかし、近代的な艦隊を運用できるほどの文明が存在するとは到底考えられません」

「そうか、だいたいわかった。熱海、お前はどう思う？」

そう言つて門ヶ崎が視線を変えると、【熱海亜紀歩】あたまあきほ三等空尉が意見を発する。

「海水温が氷点下の状態になっているにも関わらず凍っていないことは過冷却の理論で説明できます。しかし、このような不可解な現象が実際に起こつたとなると、とても信じ難いです」

会議が始まる前に門ヶ崎が報告し、そして今亜紀歩が指摘した通り、過去の調査で一度も確認されなかった陸地が突然出現し、さらに



海がシベリア並みの寒さになっている（もちろん全ての領域ではないが）というのはかなり信憑性が薄い。

「だが彼女らの報告は間違はなく事実だ。今はドレヴオボグ連邦とか言う国の海軍の捕虜として、それも旗艦と思われる主力艦の艦内で軟禁されているのはなぜだと思う？」

と、続けて発言しようとしていた熱海の言葉を遮って【鬼弓丸】一等海佐が言う。

近代海軍を有し、それを艦隊規模で運用するほどの文明が現地に存在しているとなれば自分たちにとっては相当の脅威であることに違いない。

しかし、彼らにとって自分たちは違うのか。答えは、否だ。

「人の姿でありながら、戦闘艦並みの大きさでレーダーに写るから不意打ちを警戒して……」

「その通り。最も、彼らは艦娘の本来の力にはまだ気付いていない可能性も充分にあり得るけどな」

艦娘、そして深海棲艦の最大の脅威は、本来の大きさより巨大な姿でレーダー・ソナーに写ること、そして戦闘に特化している故の身体能力の高さである。

レーダーに投影される影は戦艦の艦娘なら戦艦並みの大きさで、ソナーで確認できる大きさは潜水艦の艦娘なら潜水艦と同じ大きさでといった具合だ。

しかも度重なる改造手術近代化改修によって、艦としてのスペックは彼女らの元になった実在の艦艇より遙かに上を行くため、対艦ミサイルを使わなければ撃破は困難である。

またいくら少女の姿をしていると言えども全身が兵器であるため、身体能力は当然人間の比ではない。

そんな化け物の侵入を許してしまえば、艦が内側から木っ端微塵になるのは目に見えているのだが、あいにく現在は武装を解除した状態で軟禁されている。

「にしても面倒なことになっちまったなあ……………」

午尾は呟くが、前述した通り派遣された六人は未知の国家の捕虜と

なっているため、しばらくは連絡がとれない報告書の中に非戦時中の捕虜の扱いに関する国際条約についてまとめられた報告があった。  
面倒ごとに巻き込まれたとばかりに提督たちはため息をついた。

## 第零話後・下 その頃のとある掲示板

「2019年 8月1日」

1：風がふけば名無し 2019/8/1 1:46:00

【悲報】派遣艦隊、未知の勢力の捕虜になる【絶望】

2：風がふけば名無し 2019/8/1 1:46:22

響ちゃんが……俺らの響ちゃんがあああ！

3：日付 2019/8/1 1:46:32

(OMO) キュウキョクツタライダーシステムノセイデ……オデノ  
カダダハボドボドダ!!

4：風がふけば名無し 2019/8/1 1:46:40

おのれ天龍の姉貴が！許さん！絶対に許さんぞ大本営ども！

5：北の国より 2019/8/1 1:46:59

速報見てるけどマジかこれ

http:00000.00

6：風がふけば名無し 2019/8/1 1:47:07

午前2時近いのに元気だなお前ら

7：風がふけば名無し 2019/8/1 1:47:18

>>5 北さんや北さんや……全体何があつたちゆうんじや？

8：風がふけば名無し 2019/8/1 1:47:24

スレタイちゃんとみろアホ

9：北の国より 2019/8/1 1:47:30

ちよつとコピペするから待つてろ

10：風がふけば名無し 2019/8/1 1:47:48

>>9 オナシヤス

11：風がふけば名無し 2019/8/1 1:47:59

>>9 待機中です

12：北の国より 2019/8/1 1:48:12

夕田電子新聞速報

8月1日深夜に津軽湾ゲートから派遣された艦娘6名からなる調査艦隊が所属不明の艦隊と接触し、直後に捕縛されたと防衛相川上幸

之介氏が各メディアに伝達した。

現状最後の報告によると所属不明の艦隊の乗組員の多くがスラヴ系の人種で、またロシア語の他英語、オランダ語、ドイツ語などを話しており国家間の繋がりが強い多国籍軍のようにも見えた。

また前回の調査では気温が30℃〜32℃程度であったにも関わらず、今回の調査では気温水温ともに氷点下に下がっていたという。

13：風がふけば名無し 2019/8/1 1:48:20

(。D)

14：風がふけば名無し 2019/8/1 1:48:37

(。D)

15：風がふけば名無し 2019/8/1 1:48:47

(。D)

16：風がふけば名無し 2019/8/1 1:48:59

(。D)

17：風がふけば名無し 2019/8/1 1:49:07

(。D)

18：日付 2019/8/1 1:49:20

一一MO)

19：風がふけば名無し 2019/8/1 1:49:30

>>18Σ(0w0;) ナズエミテルンデイス!

20：風がふけば名無し 2019/8/1 1:49:41

しかし面倒なことになったな。前回の調査って先月の25日だろ

?

21：風がふけば名無し 2019/8/1 1:49:58

その前回の調査でイルカが何匹か向こうに行っちゃって、チワワが言い掛かりつけて来たんだったよな

22：北の国より 2019/8/1 1:50:06

>>>18日付生きとったんかワレ!

23：風がふけば名無し 2019/8/1 1:50:12

北さん気付くの遅えwww

24：風がふけば名無し 2019/8/1 1:50:23

チワワと言えはキムチもなんか声明発表しとったで

25：風がふけば名無し 2019/8/1 1:50:35

>>24無視しとけ。どうせろくな事言っちゃいねえ

26：日付 2019/8/1 1:50:48

(OMO) ヒドロオチョグツデルドブツドバスゾ!

27：北の国より 2019/8/1 1:50:57

ちなみになぜか向こうの国際法も報告書にまとめてあったんだと。

なんでも国籍不明の武装集団が現れた時に対処するための法律らしい。

28：風がふけば名無し 2019/8/1 1:51:08

マジか結構近代国家だぞ相手。

29：風がふけば名無し 2019/8/1 1:51:20

最新情報見てるけど所属不明の艦隊の規模から乗組員の個人情報まで詳細にかかれてるわ。普通知られたらヤバイんじゃないの？

30：風がふけば名無し 2019/8/1 1:51:30

>>29確かにヤバいな。敵か味方かわからない武器持った女の子に自分たちのこと教えてこっち側に送らせてるあたり絶対頭おかしい。

31：風がふけば名無し 2019/8/1 1:51:42

となるとあれか? 「俺らにはこんな兵器があるんやぞ、こんな人材がおるんやぞ」ってアピールしてこっち側の人間が興味をひかれたところで捕虜返還交渉のテーブルに座らせるって魂胆か?

32：風がふけば名無し 2019/8/1 1:52:07

>>31少なくとも俺はそう睨んでる

33：風がふけば名無し 2019/8/1 1:52:19

でもって伊勢モドキに監禁されてる艦娘らはどうなつとるん?

34：風がふけば名無し 2019/8/1 1:52:32

>>33それがよくわからのよ。報告が来とらんだと

35：北の国より 2019/8/1 1:52:40

ちなみに「非戦時中に捕虜とした軍属等の扱いに関する条約」なる条約が存在するらしい内容は「加盟国はドンパチがない時に領土領海

領空で武器もってふらふらしてる生まれのわからん怪しいやつ見つけたらとりあえず事情聞いてそいつが軍人やつたらそいつの本国に連絡させて変なことせんように回収しに来るまで面倒見とけ」(要約)。

3 6 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 3 : 0 0

(。 ㇿ。 )

3 7 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 3 : 1 4

(。 ㇿ。 )

3 8 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 3 : 3 0

(。 ㇿ。 )

3 9 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 3 : 4 8

(。 ㇿ。 )

4 0 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 3 : 5 9

(。 ㇿ。 )

4 1 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 4 : 1 0

(。 ㇿ。 )

4 2 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 4 : 2 7

(。 ㇿ。 )

4 3 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 4 : 3 6

>> 4 2 こっち見んな

4 4 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 4 : 4 9

>> 3 5 考えた人アホかな?

4 5 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 5 : 1 0

>> 3 5 外交のがの字もわからないようなやつが考える内容なんです  
すがこれは……………

4 6 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 5 : 3 5

>> 4 4

>> 4 5

きつと優しい人が考えたんだよ……………多分……………

4 7 : 風がふけば名無し 2 0 1 9 / 8 / 1 1 : 5 5 : 4 8

>> 1 2 て言うか気温マイナスで流水すら見つからないってどう

いうことよ

48 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 55 : 59

しかも氷点下だろ? 氷点下で流水がないとかもう水じゃなくね?

49 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 56 : 15

いやマグマの真上とかそういうところならワンチャン……ないな

50 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 56 : 35

そういえばアメ公は何してるんだ?

51 : 北の国より 2019 / 8 / 1 1 : 56 : 43

ゲート出現↓現地の調査を日本に丸投げ↓キムチとテロリスト(某極右団体)と頭お花畑(某鳥頭の会)と支那とマスゴミ(主に○日)が大騒ぎ↓スパイを送り込んで黙らせる↓フロンティアかと思ったら海しかない↓海洋資源独占を目論んで調査を続行させる↓十六回目の調査中にイルカが迷い込む↓なぜかトチ狂ったチワワが自衛隊基地襲撃↓オーストラリア政府を脅して賠償金を払わせる↓今回の調査中に艦隊一つがまるごと捕虜になる↓かなりヤバい内容の報告書が届く↓安保会議↑今ココ

52 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 56 : 58

大統領……

53 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 57 : 20

不憫でならんな……

54 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 57 : 32

えっでもアメリカ艦いないから関係ないし無視すればよくね?

55 : 風がふけば名無し 2019 / 8 / 1 1 : 57 : 50

>>54 一応同盟国だから嫌でも放って置けないんじゃないやよ

←新着スレを表示する

## 幕間一 2057：ビルダーバーグ集会

「[2057年5月17日 午前6時22分]」

「……………彼らを送り込むことには成功したのか？」

鋭い眼光を議場に向け、ビルダーバーグ会議議長、【ニムロド・Racshieludeラツシエルード】は呟いた。

視線の先にはピラミッドの頂点で世界を見下ろす目、Providenceプロビデンスの紋章が描かれた旗がぶら下がっている。

「はい。災害は発生しましたが損害は少なく、ひとまず第一段階は成功したと言えるでしょう」

いかにも関係ないといったような冷静な態度で、Albertr Lacroulプロビデンスの旗のすぐ隣に座る男、【アルベルト・ラクール】は答える。

「……………そうか……………」

ニムロドをはじめ、円形のテーブルを囲む十二人の男女は安堵のため息を吐いた。

今この場にいるのは、Illuminatiイルミナティ、漢字文化圏では天光騎士團とも呼ばれる国際秘密組織の最高幹部たち。

彼らは罪痕使徒。ステイグマ・アポストロキリストとその十二人の弟子たちを模した十三人による幹部会と言ったところであろうか。

「ようやく……………ようやくだ……………いよいよ我らの名を騙る忌々しい畜生どもにも復讐できる……………」

拳を強く握りしめて【David Chamberlainデイビッド・チェンバーレイン】が呟く。

「5000年の時を経て……………我らの怒りの刃が遂に届く……………」

【John Alansabalジョン・アランサバル】が怨嗟の声を発する。

「……………変に急くなよ。まだ前準備をしている段階だ。まだ始まったばかりなんだ。ここで計画を急いで失敗すれば、全てが水泡に帰す」

興奮状態にある二人を諭すように【Mark Hugo Edissonマーク・ヒューゴ・エディソン】も言葉をかける。

「……………人々が思い描く未来の実現までの時間を何十年も早めた作家ウォルト、自由を求め続けたテンプル騎士団最後の騎士団長ジャツ



ク、今ある機械類の多くを作り上げた発明家トーマス、そして全ヨーロッパの平和実現を目指した名門貴族マイア………今ここにいる私どもの御先祖様たちが見た幻想がもう間もなく現実になるうしているというのに………またあなたは冷たい言葉で私たちを貶すのですね」

当代のイギリス女王【シャーロット・ウィンザー】が穏やかな口調で、それでいて強い力のこもった声でエディソンを責める。

「お前さんはいいさ。どんな困難に直面しても、自分の持つてる知恵とその使い方の工夫だけで完璧に解決できるんだからな」

シャーロットの言葉に対して、エディソンは皮肉混じりのジョークで返した。

「マーク………そこまで悪く言うことはないんじゃないか………？」

各々の喧嘩腰のやり取りを見かね、【ロナルド・ジェニファー】が言葉が発する。

「マーク君。確かに君の言う通り、焦りは禁物。だが、女王陛下の御言葉も確かだよ。現に計画は確実に、かつ順調に進んでいるからね」

初老の男、【フレデリック・ハルフォード】がロナルドをフォローするようにエディソンに言葉を向ける。

そして、フレデリックは【ハロルド・スミシー】とニムロドの方に視線を変え、鋭い口調でこう言った。

「ところで。次に動かす駒は、もう決めているのかな？」

場の空気が静まりかえる。悪戯っぽい笑みを浮かべたまま答えない二人に、フレデリックは再び声をかけた。

「それとも、もう動かした後かな？」

ハロルドは自信に満ちた表情で胸を張って答えた。

「はい。一足はやく次の一手をうたせてもらいましたよ」

彼は鞆に積めていた紙束の中から、封筒に入れられた一通の手紙を取り出す。

そしてその手紙を、一字一句の誤りなく読み上げた。

『《КОНТАКТЫ СО СТРАНАМИ В 2019 И

【БЭСМ—Будущее】より  
 П<sub>第</sub> Н<sub>妨</sub> с<sub>こ</sub> И<sub>実</sub> В<sub>上</sub> Д<sub>国</sub> З<sub>諸</sub>  
 е<sub>第</sub> р<sub>第</sub> к<sub>妨</sub> в<sub>行</sub> л<sub>行</sub> в<sub>上</sub> п<sub>交</sub> в<sub>国</sub>  
 в<sub>一</sub> а<sub>害</sub> я<sub>こ</sub> ю<sub>す</sub> ы<sub>記</sub> л<sub>交</sub> е<sub>国</sub>  
 ы<sub>一</sub> к<sub>害</sub> з<sub>こ</sub> м<sub>記</sub> ш<sub>記</sub> о<sub>記</sub> р<sub>記</sub>  
 й<sub>段</sub> и<sub>段</sub> а<sub>ま</sub> и<sub>る</sub> е<sub>ま</sub> м<sub>の</sub> ш<sub>の</sub>  
 э<sub>工</sub> т<sub>工</sub> п<sub>工</sub> ы<sub>に</sub> н<sub>に</sub> а<sub>に</sub> у<sub>の</sub> а<sub>の</sub> е<sub>の</sub>  
 т<sub>階</sub> о<sub>階</sub> п<sub>階</sub> ы<sub>階</sub> т<sub>階</sub> а<sub>階</sub> и<sub>階</sub> н<sub>階</sub>  
 п<sub>作</sub> в<sub>作</sub> о<sub>作</sub> х<sub>作</sub> о<sub>作</sub> з<sub>行</sub> а<sub>行</sub> ч<sub>行</sub>  
 п<sub>現</sub> в<sub>現</sub> с<sub>現</sub> н<sub>現</sub> с<sub>現</sub> я<sub>現</sub>  
 п<sub>地</sub> е<sub>地</sub> ж<sub>地</sub> н<sub>地</sub> и<sub>地</sub> ы<sub>地</sub> а<sub>地</sub> ф<sub>地</sub>  
 р<sub>成</sub> о<sub>成</sub> д<sub>成</sub> и<sub>成</sub> х<sub>成</sub> я<sub>成</sub> о<sub>成</sub> р<sub>成</sub>  
 ш<sub>功</sub> е<sub>功</sub> н<sub>功</sub> и<sub>功</sub> л<sub>功</sub> д<sub>功</sub> п<sub>功</sub>  
 л<sub>功</sub> и<sub>功</sub> й<sub>功</sub> о<sub>功</sub> р<sub>功</sub> е<sub>功</sub> р<sub>功</sub>  
 у<sub>で</sub> с<sub>で</sub> о<sub>で</sub> г<sub>で</sub> т<sub>で</sub> с<sub>で</sub> ц<sub>で</sub> н<sub>で</sub>  
 п<sub>あ</sub> а<sub>あ</sub> т<sub>あ</sub> г<sub>あ</sub> а<sub>あ</sub> в<sub>あ</sub> д<sub>あ</sub> ш<sub>あ</sub>  
 е<sub>あ</sub> с<sub>あ</sub> н<sub>あ</sub> и<sub>あ</sub> я<sub>あ</sub> у<sub>あ</sub> р<sub>あ</sub>  
 ш<sub>る</sub> с<sub>る</sub> а<sub>る</sub> б<sub>る</sub> з<sub>る</sub> а<sub>る</sub> ц<sub>る</sub>  
 о<sub>る</sub> о<sub>る</sub> б<sub>る</sub> о<sub>る</sub> ц<sub>る</sub> н<sub>る</sub>  
 а<sub>る</sub> ж<sub>る</sub> а<sub>る</sub> ж<sub>る</sub> а<sub>る</sub>

# 第壹章 Wander Girl\夢見る乙女

## 第壹話第壹節 凄惨

《United Kingdom London》  
《ブリテン連合王国 ロンドン市》

言わずと知れたイングランドの王都、ロンドン。

中世以前に設計・建設された石造り家屋と産業革命以降に建てられた煉瓦造りの建物が今もなお多く残されているヨーロッパ随一の古都であり、歴史的遺物が世界中から集められた博物館や最大級の時計塔なども存在する世界屈指の観光名所でもある。

そんな大都市ロンドンの平和な日常を脅かしはじめたのは、2019年8月12日13時55分に突如としてロンドンに現れた三人の殺人鬼であった。

「2019年 8月12日 午後5時00分」

最初の飛翔体の攻撃による被害が報告されたのは夏の真っ只中、良く晴れた日の公園でのことだった。

「それにしても酷いな……どこのどいつがあんな残忍な真似を……」

コンラートは地球側から仕入れた報告書に目を通しながら、ぽつりと感想を述べる。

「飛翔甲冑を纏った国籍不明の女、母親の目の前で少年を惨殺。被害者は計11人」 The People

「悲劇！人型UFOによるロンドン市内同時殺人事件！」 New York Daily News

「ロンドンにて男性8名と子供3名が同時に殺害される。人型UFOの目撃情報も」 産営新聞

数あるメディアの中でも特に強い影響力を持つ各新聞社の夕刊の見出しは、世界中の人々に衝撃を与えた。

同盟側としても地球側の国連加盟国と国交を締結して間もない時期に、こちらが関与していると思われると当然の事件が突如として起こったのだから、向こう側の混乱は計り知れない。

写真を見る限りは裸同然の被服の他に申し訳程度の金属質の装甲があり、その金属鎧には光の翼と小型のジェットエンジンが取り付けられているのがわかる。

またその体型からも成人の女性であることが見てとれた。

「Infinité Stratoss……」

ケネスが報告書のモノクロ写真を見て、何かに気付いたかのように呟いた。

コンラートも、コンラートの妻もケネスの言葉から何かを悟り、体を震えさせる。

そこにいつの間にか隼人が割って入り、確信を込めて三人に言った。

「ということはだ。俺たちの他にも並行世界や異世界から、あの2019年の地球に誰かが行き来できる状態になってるってことだろ？」  
戦慄。これに尽きる。四人は報告書をテーブルに残したまま、すぐに小会議室を後にした。

「20XX年 7月 31日 午後6時24分」

Nation of Japan  
《日本 国 IS学園》

本校舎一階に存在する職員の詰所。このIS学園に勤める教諭の一人である【織斑千冬<sup>おりむらちふゆ</sup>】は、他の職員が電源をつけたまま放置されているテレビには目もくれず、その日の夕刊を手に愕然としていた。

「イギリス軍所属のISパイロット三名、機体と共に失踪し消息不明」………

見出しには大きく、「消息不明」と書かれている。記事も意図的に不安を煽るような内容で、消息を絶つ直前の機体に搭乗したパイロットの写真も掲載されていた。

人類史上最強とされる兵器、それも軍属のものが突如として姿を消したのだ。

軍事的なものばかりではなく、経済的損失も計り知れない。

「あの………大丈夫ですか先輩？」

同じく学園の教員である【山田真耶<sup>やまだまや</sup>】が、心配そうな表情で千冬に声をかけた。

千冬は大きいため息を吐くと新聞をテーブルに置き、真耶の方へと体を向ける。

「いや……心配は無用。私は何も問題ない」

行方不明者の状況を案ずる気持ちを押し殺して虚勢を張った。

しかし、彼女らは知らない。知るはずもない。消息を絶った彼女たちが人殺しに身を墮<sup>お</sup>としたことなど、少なくとも今の時点では。

「[2019年 8月15日 午前10時32分]」

『何て言うか、ずるい人達ですよねえ』

『そうだよ。この三日で65件も殺人を犯してるのにまだ足取り掴めてないからね』

『しかもこれ怨みとかじゃなくてね、絶対人殺すの楽しんでますよ』

『仮面ライダーでも似たようなグロンギっていうの居ましたよね。世代の人からすれば「あのトラウマが帰って来んのか」って感じ』

『そうそう。モビルスーツじゃないけど人型UFOに乗ってるっていうのも相まって、もう悪の組織の怪人感増し増しだよ』

『その人型UFO群、通称“ハーピー”？についての最新情報入りましたVTRどうぞ』

## 第壹話第弐節 開始

「2019年 8月15日 午後2時58分」

United States of America  
New Mexico  
《アメリカ合衆国  
ホワイトサンズ国立公園  
ニューメキシコ州

「始まった」

砂漠と見紛うほどに広大に広がる砂の上を歩きながら、青白い顔の男が呟いた。

地平線に隠れるほどに広がる高い空を見上げ、不気味な笑みを浮かべながらも一言。

「世界を変えろ。ゴミクズども」

「同年同日 午後1時28分」

Military Nation Olympus  
《軍事国家オリュンポス 首都エリュシオン》

「篠ノ乃製コア持ちのISが地球に？確かな情報なの？」

アポ無しで突然押し掛けて来たコンラート達からもたらされた情報に、舞は困惑した様子で問いかける。

隼人とコンラートはうんとうなずき、ケネスも続けて発言した。

「間違いない。一連の事件で目撃されたISはデュノア社製のラファール・リヴァイヴ。真正銘の「原作の機体」だ」

信じられないとその表情は驚愕一色に染まる。自分たち以外にもあの地球に行き来できる者が少なからずいること、これは真言たちも予想を立ててはいた。

しかし実際に現れたのは未知の敵ではなく既知の敵、それもフィクションの世界の住人たちだった。

「65件の殺人事件で殺された102人は全て男、加害者と思われるISパイロットは三人とも女……つまり向こうに現れたのは女尊男卑論者ってことだ」

(よりにもよってそいつらか……)

インフィニット・ストラトス作中の女尊男卑は、中世から近世の

ヨーロッパにおける男尊女卑やヒプノシスマイク作中における女尊男卑よりも遥かに酷いと言える。

作中で描かれている人権団体の腐敗がいい例だ。

そんな世界から来た凶悪犯を野放しにするわけにはいかない。

「バカ女どもの対処はカチューシャに任せるとして、俺たちはまずゲートを開かないと始まらないな」

と、コンラートは宣言した。

「20XX年 7月27日 午前6時50分」

学園敷地内にある学生寮の一室。一人の少年がベッドに座り、ぼんやりと壁を見つめていた。

「入学してからもう3ヶ月ちよつとかあ……………」

【織斑一夏<sup>おりむらいちか</sup>】は狐につままれたような気分で、部屋の壁を見つめている。

世界で唯一の男性ISパイロットとして、半ば強引に姉が勤務するこの学園に連れて来られてから3ヶ月がたち、事件も少なからずあったがだいぶこの学校での生活に慣れてきた。

しかし、そもそもが女子校であるこの施設には男子生徒など居もしないし、男性の職員も一人だけであることも重なって今もなお堅苦しい空気があることは否めない。

「そう言えば束<sup>たばね</sup>さん、今どこで何してんだろ……………」

思い出したように携帯電話を取り出し、連絡先を纏めているアプリケーションを開いていくつかある電話番号の一つを選び、通話のマークをタップする。

しかし、【篠ノ乃束<sup>しののたばね</sup>】と書かれた通話画面には、着信拒否の文字が

浮かんでいた。

（篝<sup>ほうき</sup>も千冬姉も心配してるのに…………あの人本当にどこに居るんだ？）

ため息を吐いて仰向けにベッドに倒れこみ、寝転がったままあくびをする。

もう一度起き上がると、隣の部屋の扉が開き、長い髪を束ねた女生

徒が入って来て一夏に声をかけた。

「一夏。せっかく早起きしたのに、いつまでぼんやりしているんだ？朝食を摂る時間がなくなるぞ」

制服に着替え終わった「篠ノ乃箒しのののほうき」が、赤ん坊を見る母親のような穏やかな表情で一夏を見下ろしている。

一夏は携帯電話を上着のポケットに突っ込んでベッドから立ち上がり、教科書と財布が入った鞆を手に部屋を出た。

「[2019年 8月16日 午前11時35分]」

『舞、そろそろ準備終わるぞ』

「うん、ちよつと待って」

舞の父、煌輝の音がスピーカーを通して部屋に響く。舞は銀色の金属帯ベルトを腰に装着し、愛用の大型回転式拳銃ヘビーリボルバーと高周波刀を鞆に入れて部屋を出る。

舞が基地の訓練場に着いた頃にははすでに小規模な転移装置が完成しており、見送りの人間も集まっていた。

「ほら、あなたの専用機。忘れてるわよ」

舞の母、「ウルスラ・デボラ・ナツメ」Ursula Deborahが歯車のような紋章が刻まれた宝石が嵌め込まれた黒いリングを舞に渡す。

舞はリングを受けとると、手首にしっかりと通した。

「それじゃ、行って来るね」

一同に振り返って一言だけ発した後、颯爽と転移装置に乗り込む舞にケネスと煌輝があきれたように言う。

「おいおいそれだけか？言いたいことぐらい他にもたくさんあるはずだろ？」

「真言には何も伝えなかったのか？」

舞はケネスと父の方に向き直り、満面の笑顔で返した。

「死ぬ前提で行ってきますなんてカッコつけて言うの、今時師匠おじさんぐらいしかいないもーん！」

舞の言葉に一同は笑いをこらえることができなかった。



## 第壹話第參節 時空

問おう。時間と空間ほど、定義が曖昧で不完全なものが存在するだろうか。

過去から現在へ、現在から未来へ、河が上流から下流へ下って行くように時間が流れると言うが、それは果たして本当に正しい解釈なのだろうか。

空間は広がり続け、いずれ限界が訪れて今度は縮み始めると言うが、それは果たして本当に納得のいく答えなのだろうか。

時空は無数に存在し、過去現在未来は同時に存在していると言うが、それは果たして誰もが理解してくれる意見なのだろうか。

宇宙は虚無から始まったとする説と混沌から始まったとする説の二つがあるが、それは果たして宇宙を理解しようとしていると言えるのだろうか。

時間はゼロから始まり際限なく重なり続けるのではなく、時限爆弾のように途方もない数値から始まってゼロへと向かいカウントダウンしていると言うが、それは果たして多くの人を納得させることができる主張なのだろうか。

そもそも時間も空間も存在せず、あるのは物質のみであると言うが、それは果たしてなぜそのような答えに至ったのか充分に説明できる考え方だろうか。

宇宙とは一つの実体であり、星や人、もろもろの生き物は細胞やウイルスに過ぎないとする人がいるが、それは果たして生命の根源がどこにあるのか理解していると言えるだろうか。

問おう。時空とはそもそも、どのような物なのか。

「0年0月0日00時00分」

無数に存在する円形の門以外はなにもない。時間という概念が存在しない異空間、ウルトラホール。

無限に広がる空間に、一人の少女が始めからそこにいたかのように浮かんでいた。

「Hoken V·rdem Ufan,

Sechbon Gilp? そもそもあんたたち本当に人間?」

苛立つ彼女の言葉通り、百数十人もの異形、「爬虫類型異星人」が、舞を取り囲んでいる。

その手には武器を持ち、仮面に隠された目からは殺気が放たれている。

「Lhuj!»

チタウリ兵の一人が叫び、ジェットパックから炎を噴き上げて舞に飛びかかった。

「G·tz·deong·s·n,  
P·il·belo·f·btai·jurm!»

舞が叫ぶと同時にワームホールが出現し、ワームホールから黒いヘラクレスオオカブトのような機械が飛び出して掴みかかろうとしていたチタウリ兵の心臓を貫いた。

一方の舞は高速で飛行するその機械を、迷いなく手に掴む。

「変身っ!」

チタウリ兵たちが動揺しているのを他所に、掛け声とともにカブトムシをベルトのバックル部分に装着した。

HEN—SHIN

機械音と変身音が鳴り、ベルトから鎧のようなスーツが生成され始

め、舞の体と身に付けているもの全てを包み始めた。

鎧は胸から肩へ、肩から手先へ、腹から腰へ、腰から脚へと少しずつ覆い隠す。

やがて兜のような仮面が顔を覆い隠した。

鎧の胸の中央にはカブトムシのロゴとZECTの文字が刻まれている。

その名は、『仮面ライダー<sup>Dyna</sup>ダイナヘラクレス？』。

「あの畜生を <sup>殺っ</sup>L h u g ・ m p i ！」

チタウリ兵がダイナヘラクレスに向けて一斉に光線銃を撃つ。しかし、光弾も熱光線も鎧を貫けぬまま消え去る。

ダイナヘラクレスは敵の様子を確かめながらカブトムシの大角を指でつまみ、開くような動作を取った。

ウルトラホール内に再び機械音が鳴り響き、スーツに隙間ができはじめる。

「キャストオフ」

掛け声とともに開いた角を一気に動かした。

『CAST-OFF』

音声とともに全身を鎧のように覆っていたスーツの一部が、爆弾の破片が弾けるように四方八方へと飛び散る。

チタウリ兵の多くは対応が遅れ、その鎧のかけらを避けきれずに頭が吹っ飛んだり腕が千切れたりした。

千切れた黒い肉片、無残に折れたままの骨、大量の青い血液が宙を舞う。

そして、カブトムシ特有の縦に並んだ二本の角がダイナヘラクレスの頭上を指し示すように現れ、<sup>みたび</sup>三度音声<sup>が</sup>鳴り響く。

『CHANGE—BEE—TLE—』

世界最大級のカブトムシ、ヘラクレスオオカブトを象<sup>かたど</sup>った仮面。

その大部分を構成する<sup>まがまが</sup>禍々しい赤色の複眼は見る者を威圧する蛇のようである。

チタウリ兵たちはその異様な姿を見て一瞬<sup>ひる</sup>怯むが、すぐに武器を構

え直して臨戦態勢をとった。

「クロックアップ」

対してダイナヘラクスは右手をベルトに触れさせ、掛け声を放つ。

『CLOCK—UP』

刹那。異空間の内側を流れる光の奔流が、自らを取り囲む敵の動きが鈍り始める。

時間が存在しない空間の中で、スーツ内を凄まじい速度で循環するタキオン粒子の作用によって、ダイナヘラクスの時間が加速する。

逆に周囲のチタウリや空間の中を流れる時間は、川の流れる水に削られる岩の如く取り残されたまま変化しない。

「うおおおおおおおおおおおおー」

舞は叫び声をあげながら凄まじいスピードで敵の一人に殴りかかる。一方のチタウリ兵は自分に接近する敵の姿を認識できていないのか、かなり混乱している様子であることがわかる。

力の籠った拳が仮面に守られているはずのチタウリ兵の顔面にぶつけられ、頭蓋とともに肉や脳とともに神経を粉碎した。

完全に生命を絶たれた生物だったモノの頭部から内容物が飛び散る。

「X・s・i!?!」

突然味方の頭が潰れたことに動揺したチタウリが叫ぶが、その一言の間に数人のチタウリ兵が死んだ。

パニックに陥った十数人の兵士が、歯車の狂った時計のように光線銃をめちやくちやに撃ち、同士討ちが起こる。

混乱の最中にあつても、ダイナヘラクスはもはや指揮を失った敵を狩る。

ある者は腰から切り離される。またある者は首を折られる。心臓を貫かれる。手足を潰される。悲鳴をあげることなく屠殺されてゆく。

そして。

『CLOCK—OVER』

機械音とともにダイナヘラクスの、存在しないはずの時間の流れが

正常な状態に戻った。

大量の銃器と血まみれの死体が、重力も時間も存在しない空間で、無力に漂っている異様な光景が場を支配していた。

「だいぶ時間食っちゃったなあ……いつもの三倍急げば間に合うかなあ……」

自らが殺した無数の生物の死体を目の当たりにしてもなお冷静を保ち、ありもしない時間を気にしながら変身を解除した舞が呟く。

彼女が振り返ると、半裸の女性が金属の翼を身につけ空を飛ぶ映像が浮かぶ、神秘的な光のリングが舞を見下ろしていた。